

えんばわ

71
号

Empowerment For All
エフアジヤパン

特集

ラオス
新しい図書館





エファは2023年より、ラオスの首都ビエンチャンにおいて、障害がある子どもたちが多く通う小学校2校を対象に、移動図書館、常設図書室の整備を行っています。障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが本から文字を学び、情報を得て、想像力の翼を広げてもらいたい。そんな願いを込めてスタートした「新しい図書館づくり」についてお伝えします。

Vol.71 CONTENTS

03	特集 「新しい」 ラオス 図書館	ラオスの新規事業「新しい図書館」
05		サバントング・ヌー小学校とパサイ小学校
07		障害がある子どもたちがよりよく生きるために
09		先生の思い・児童の夢
11	サバイディー(ラオ語で「こんにちは」)	
12	アジアまちかどライブラリー —カンボジア—	
13	アジアまちかどライブラリー —ラオス—	
14	ムペアック(クメール語で「仲間」)	

今号の表紙

ラオスでの移動図書館活動。
(目次写真 移動図書館に集まったにぎやかな子どもたち)





子どもたちの図書室づくり



本棚を化粧直し



物置だった部屋を整理

世界盲人連合によると、出版される書籍のうち、点字、録音図書等、電子書籍などの形式でつくられ、障害者が利用できるものは、開発途上国においてはわずか1%以下といわれています。これは、日本を含めた先進国においても7%程度にすぎないと推定され、そしてこのような状況は「本の飢餓」と名付けられています。

ラオスでも本の飢餓は深刻です。エファが首都ビエンチャンの市場を調査したところ、点字、大活字本などの図書は皆無でした。また、図書館運営支援を行っている学校において、校長、図書館員にヒアリングを行いました。しかし、教材は存在せず、障害児教育に困

エファは2023年度より、ラオスにおける新しい図書館づくりとして、新規事業「思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト」をはじめました。障害がある子どもたちを対象としたこのプロジェクトの根底には「本の飢餓(book famine)」という、厳しい現実があります。

パサイ小学校での新しい 図書室づくり



壁をペイント



ペイントの様子



お手本を見ながら作業



完成した新しい図書室

難をきたしています。障害がある人々のコミュニケーションのひとこととしての手話は、ラオスの聴覚障害者協会が開発、普及をはじめていますが、まだ全国には及んでいない状況です。

障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちは文字を学び、情報へアクセスをする権利を持っていると信じています。エファは、現地NGO・アジア子どもの家財団と協働し、本の飢餓撲滅と、思考とスキル向上のための読書推進プロジェクトに取り組みます。

みなさんと一緒に子どもたちにとっての新しい図書館の扉を開きたい—そう願っています。



サパントング・ヌー小学校とパサイ小学校

サパントング・ヌー小学校

教員の数:5人



学年	児童数			障害児			障害児の割合
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1	6	6	12	5	1	6	50%
2	11	6	17	5	2	7	41%
3	7	6	13	4	1	5	38%
4	13	2	15	7	0	7	47%
5	11	6	17	4	0	4	24%
合計	48	26	74	25	4	29	39%

パサイ小学校

教員の数:5人



学年	児童数			障害児			障害児の割合
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	
1	12	1	13	6	1	7	54%
2	9	1	10	3	0	3	30%
3	14	5	19	2	1	3	16%
4	14	4	18	6	1	7	39%
5	9	6	15	1	0	1	7%
合計	58	17	75	18	3	21	28%

ラオスの小学校(義務教育)は5年間です。



サパントング・ヌー小学校授業風景



パサイ小学校授業風景

サパントング・ヌー小学校とパサイ小学校は、ラオスの首都、ビエンチャンにある、障害児が多く通う小学校です。両小学校は、障害がある子どもたちが通うリハビリセンターの近隣にあり、新規事業は、この2つの小学校ではじまりました。

新規事業において、新しい図書館づくりがはじまった2つの小学校を紹介します。

まごまです。

教員はインクルーシブ教育(障害の有無にかかわらず、すべての子どもを受け入れる教育)の現場で教えた経験がなく、試行錯誤しながら授業を進めています。



ケート・モニー先生

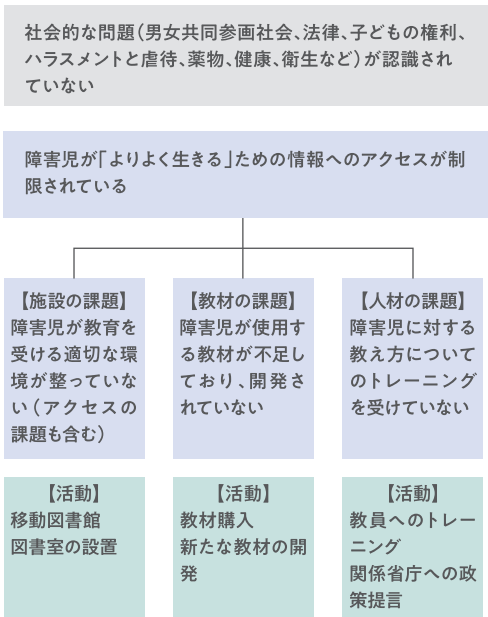
パサイ小学校のケート・モニー先生は「最初は戸惑いました。でも一人ひとりの子どもたちと丁寧につながることを心掛けています。何をしたいのかを想像しながら子どもを見つめています」と話してくれました。

エファは、図書室の整備や移動図書館を通じた子どもたちへの教育支援だけでなく、教員を対象とした研修会を開催し、教員のサポートも行います。

障害がある子どもたちがよりよく生きるために

ラオスの障害がある子どもたちは、自らに関する、さまざまな情報へのアクセスがむずかしい状況にいます。障害があってもよりよく生きる権利があること、健康を害した時の対処方法、生活を守るための法律の存在も知らずに子どもたちは育っています。その原因にあるのが、施設（場所）、教材（物）、人材（人）の不足という、3つの課題です。

エフアは、新しい図書館づくりー思考とスキル向上のための読書推進プロジェクトを通じて、障害児がかかえる社会的な3つの課題の解決を目指し、以下の事業を実施します。



施設の課題の解決のために

移動図書館活動

小学校の教員に読書推進活動への理解促進、技術の取得をもらうため、ラオス国立図書館と協働で移動図書館活動を実施、対象校2校に毎週2回訪問します。移動図書館では本に興味を持ってもらうため、絵本や紙芝居を活用した読み聞かせを開催し、また、歌や踊りなどのプログラムを提供します。

図書室の設置

アジア子どもの家財団の施設内に、障害がある子どもたちも通える図書室を設置しました。これをモデル図書室として、その経験を他の施設に活かしていけるように報告、提言を行っていきます。

また事業の対象となる2つの小学校に図書室を整備し、アクセシブル（誰でも利用可能な）教材を充実させ、障害の



学校図書室運営研修会

有無にかかわらず、読書を楽しみ、情報を得られる環境を整えます。パサイ小学校では、高校生ボランティアの参加のもと、壁のペイント、備品の提供などを行い、それまで倉庫として使われていた一室が図書室に生まれ変わりました（3ー4写真）。今後は、図書の配布、図書館運営についての研修会開催などを行い、子どもたちの学びの環境を整えます。

教材の課題の解決のために

教材の購入

農業・教育・法律といった分野での、生活に役立つ知識を高めもらうため、本や学習用教材を整備します。またインターネットを通じたリサーチ・学習活動を促進するため、IT関係のツールを取り入れながら、子どもたちにとって魅力的で親しみやすい環境をつくります。

教材の開発

現在は皆無に等しい状況を改善するため、専門家と協働で、障害児のための教材開発を進めます。オンライン教材、特にマルチメディアDAISYについては、日本の専門家と



デジタル図書の学習

人材の課題の解決のために

教員へのトレーニング

図書室の運営の方法、選書や本の活用の仕方、子どもたちへの教授法などを伝え、実践してもらうためのトレーニングを提供します。

関係省庁への政策提言

ラオス国立図書館や関係省庁と定期的な会合を持ち、現場の声を伝えることで、政策として反映されるよう提言活動を行います。



障害児を考慮した学校教育研修会

先生の思い・児童の夢

「すべての子どもたちが
可能性と創造性を発揮し、
自分ものがたりを描ける社会に」

スホング・ブーチャンタ先生の思い

「私が教えるパサイ小学校では、聴覚障害、視覚障害、自閉症など、さまざまな障害がある児童が学んでいます。しかし、障害児教育のトレーニング経験がない教員もおり、手探り中で授業を進めています。また、障害児に適した教材は非常に限られ、私たち教員が手作りでおこなっています」

「学校図書館については、蔵書も少なく、あるのは読み物の古い本ばかり。そこに、絵本を積んだ移動図書館が来たことで状況が改善しました。障害がある児童は、最初はおそろおそろ絵本を手にしていましたが、まず描かれた絵に興味を

持ち、そしてだんだんと、そこに書かれたお話を読みたい、理解したいと思うようになっていきました。

ある絵本では、主人公が困難な状況に置かれながらも、仲間と一緒に立ち向かい、困難を克服してゆきます。そのお話を讀んだ障害がある児童が夢を語るようになりました。そのとき、私には熱いものがこみ上げてきました。夢を持つこと、それを言葉にすることは、障害がある児童がこれからの人生を歩む上で、大きな、貴重な一歩ではないでしょうか」



スホング・ブーチャンタ先生



コアムアンくん

「近隣住民や、健常児の保護者の中には『パサイ学校に通わせたら自分の子どもも障害児になる』と信じている人がいます。大人が誤った知識を持っていることは、大変悲しいことです。移動図書館は家庭でにぎやかに行われています、絵本の読み聞かせに好奇心いっぱいなのまなざしを向け、満面の笑顔で参加する児童の様子を見れば、周りの人たちの意識も変わっていくのではないかと思います。

人は障害のあるなしにかかわらず『夢を持ち、夢を語る』権利があります。移動図書館、図書室での読書活動は、児童の権利に直結しています。私は教員として、新しい図書館活動に全面的に参加します」



移動図書館活動

コアムアンくんの夢

パサイ小学校に通うコアムアンくんは、生まれつき下半身がまひして感覚がありません。学校へは車いすで登校しますが、体調不良の日も多く、病気で辛くて動けない日は、体を丸め横になり、家でテレビを見て過ごします。そんなコアムアンくんがテレビを見てあこがれた職業はスパイでした。でも、車いすの僕はスパイになんかなれない。そう思っていました。

ある日、パサイ小学校に、アジア子どもの家財団のスタッフが訪れ、コアムアンくんにインタビューをしました。さまざまな質問に答える中で、コアムアンくんは、自分の夢を語りました。

「僕はスパイにあこがれているんだ。でも車いすじゃやれないけど」

そう言ったコアムアンくんは、思いがけない答えが返ってきました。

「テレビに出てくるスパイのように飛び回ったりはできないかもしれないけど、車いすなら一番怪しまれないはず。きっと最高のスパイになれるよ」

コアムアンくんは驚きました。「そんな考え方もあったんだ！」と。そして、最高のスパイになる夢を追いかけるために、今日も学校に來ています。



アジア
カンボジア
ライブラリ

まちかど

アンコールワットの図書館

2023年、コー・ケー遺跡が新たなユネスコ世界遺産として登録されました。928年にジャヤバルマン4世によってつくられたヒンドゥー教遺跡群です。アンコールワットのあるシエムリアップから北東へ約100キロ（車で約3時間）の場所にあります。カンボジアに来られたらぜひ新しい世界遺産をご訪問ください。

さて、5月の出張の際「滞在時間3時間」のアンコールワット見物に行きました。週末の休みを利用した弾丸ツアーです。外国からの観光客はあまり見当たらず、カンボジアの人たちがたくさん。やはりその国の世界遺産は、その国の人に見てもらい、知ってもらいたい。アンコールワットの中には、経典を収めていた言わば当時の図書館があります。カンボジアにはアンコールワット時代から図書館があったことも知ってもらいたいと思います。

(鎌倉)



サバイディー
ラオ語で「こんにちは」

大掃除で着なくなった洋服を捨てないで、
エファに送ってください

手続き簡単！
送料無料！

お手元に眠っている洋服を捨てればごみになってしまいますが、お送りいただけると「Brand Pledge」というサービスを通じて、買取価格が寄付になり、アジアの子どもたちへの絵本に生まれ変わります。
多少の汚れや傷があっても、使用するのに難がない程度であれば問題ありません。例えば、軽度な変色やシミ、スレ、ほつれ等がある商品も受けつけています。

買取できないもの

使用困難なシミやダメージがあるもの、下着、壊れた時計、度入りメガネ、使用した水着、子ども服等についてはお取り扱いできません。ご注意ください。
大掃除で「洋服を寄付してアジアを支援」へのご協力をお願いします。



ネットで申し込み、届いた箱に詰めて送るだけ（送料無料）

01



ネットで申し込み

02



届いた段ボールに詰めて返送
電話一本で宅配業者が集荷に
うかがいます

03



査定金額がエファへの寄付に



エファジャパン brand pledge



ムペアック

クメール語で「仲間」

エファアをご支援
いただいている方々を
ご紹介します。

新役員体制のご報告

2023年10月23日(月)に行われた理事会において
役員が選出され、新役員体制となりました。

理事長 伊藤 道雄

特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) 代表理事

【新】副理事長 石上 千博

全日本自治団体労働組合(自治労) 中央執行委員長

【新】理事 青木 真理子

自治労共済推進本部 本部長(自治労共済生協理事長)

【新】理事 太田 阿利佐

元毎日小学生新聞編集長

理事 木下 究

公益社団法人東京自治研究センター 理事

理事 栗本 正則

特定非営利活動法人FAIR ROAD 副理事

理事 関 尚士

特定非営利活動法人エファアジャパン 事務局長

理事 玉井 一匡

玉井一匡建築研究所 代表

理事 渡戸 一郎

明星大学名誉教授

【新】監事 八巻 由美

全日本自治団体労働組合(自治労) 総合企画総務局長兼国際局長

【新】監事 中山 雅之

国士舘大学大学院グローバルアジア研究科教授

顧問 イーデス・ハンソン

公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 特別顧問

アジア

ラオス

まちかど

ライブラリ



この先には小学校がある！

ラオスの季節は夏季(3~5月)、雨季(6~10月)、乾季(11~2月)の3つに分かれているといわれています。乾季は雨が降らず心地よい風が吹く旅行に最適なシーズン。夏季は名前の通り日中は気温が35℃を超えます。今年は40℃を超える日が続く過酷な暑気でした。いまこの記事を書いている10月は雨季の最後の月となります。

そして9月から新学期がはじまりました。新入生の受け入れなどで忙しい時期を避け、エファアの学校訪問は月末からスタート。ある日、学校へ向かう途中、車がぬかるみにはまってしまいうあくシデントに。首都のビエンチャンですが、舗装されていない道が多く、現地の住民のトラクターにけん引してもらい、何とか抜け出すことができました。

「それでもこの先には小学校がある！」安全に気をつけながら、小学校の訪問を続けてまいります。



この冬、子どもたちに本をプレゼントしませんか？

「歳末募金2023」 キャンペーン、実施中です。



期間：2023年11月21日（火）～2024年1月30日（火）

銀行振込

中央労働金庫 市谷支店 普1442725 トクヒエファジャパン
三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普1340692 トクヒエファジャパン

郵便振替

00190-6-723415 加入者名)エファジャパン

クレジットカード

「Syncable(シンカブル)」→「エファジャパン」でネット検索
エファジャパンページのキャンペーン「エファジャパン歳末募金2023」へ

右のQRコードからもアクセスできます

図書室ができたときは低学年だったので、先生に絵本の読み聞かせをしてもらっていました。

いまは自分で読めるようになりました。読めなかった字が読めるようになると「やった!」と思い、幸せな気持ちになります。

これからも本を読み、読むことができる字を増やしていきたいです。そして、新しいことをたくさん学びたいです。将来は警察官になり、村を守るのが夢です!

(ティップ・ハバン・ケオバサートさん ラオス)



えんばわ 通巻71号(2023・12・冬)
2023年12月15日発行

発行人：伊藤道雄

編集協力：(株)MAG MAG、畠田清二

発行所：特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338 Email:info@efa-japan.org

<https://www.efa-japan.org/>

※エファジャパンは、全国の地方公共サービスに携わる人たちが応援する、国際協力NGOです。アジアの子どもたちへの教育文化支援・福祉支援を行っています。

※認定NPO法人であるエファジャパンへのご寄付は、税制優遇の対象です。